

稲門フィラテリー

2024 年 9 月 1 日発行

第 93 号

<http://post-stamp.org/wasephila.html>



早稲田大学創立 80 周年記念シール

井上武志

手元に、早稲田大学創立 80 周年記念シールのフルシートが 2 枚あります。昭和 45 年ころ学生会館 19 号室から、散逸をおそれて、各 1 シートをいただき現在も保管しています。いずれ発行当時（1962 年）の先輩の苦労ばなしをお聞き出来ればと思いますが、インターネットで当時

の状況を調べてみましたのでまとめてみました。

1952 年に東京大学創立 75 年、1958 年には慶應義塾設立 100 年の切手が発行されました。早稲田大学切手研究会では、早稲田大学創立 80 周年の切手を 1962 年に発行してもらうよう当時の郵政省に働



図 1 早稲田大学創立 80 周年記念シール(大隈講堂と大隈重信像)

きかけること
となり、後に
大学当局も巻
き込んで早稲
田大学として
の申し入れに
発展します。

結局、この
申し入れは不
採用となるわ
けですが、そ
のかわりに記
念シールの制

作が進められることになり
ました。郵政省も申し入れ
を却下した手前、原画製作
者を紹介するなど協力する
こととなり、凹版およびグ
ラビア印刷製の記念シール
2 種が作成されました。こ
のシールは好評を博し、そ
の後、他の大学でも同様の記念シールが
検討されるきっかけとなりました。

さて、シールの銘版部分を見てしまし
ょう。シートの 19 番切手の下に「制作
早稲田大学切手研究会」、20 番切手の下
には「デザイン 渡辺三郎 印刷 大日
本印刷（株）」とあります。渡辺三郎と
言えば、第二回国体のハードルや赤十字
共同募金の看護婦、1964 年の東京オリ
ンピック切手、50 円弥勒菩薩の普通切手な
ど数多くの切手原画を手掛けてきた郵政
省技官であり、このシールでも大隈講堂
を背景に立つ銅像の構図、大隈侯の表情



図2 早稲田大学創立80周年記念シール(校旗)



図3 記念シールの銘版部分



図4 渡辺三郎が原画を手掛けた切手

から「早稲田大学創立80周年」のオリ
ジナル文字デザインまで、洗練されたも
のに感じます。正式に切手として発行さ
れなかったのが残念です。

早稲田大学創立 80 周年記念シールのカバー

池澤克就



記念シールを使ったカバー（早稲田大学前郵便局 昭和 38 年 9 月 30 日）

早稲田大学創立 80 周年を記念して作成されたシールは切手ではありませんので郵便への利用はもちろん、記念押印に利用することはできませんでした。ただ、当時のはがき料金である 5 円切手と合わせて貼れば、シールにかけて押印することはできたようで、上に示したような、大学名入り封筒を使った記念カバーが残されています。同様の記念品を作成された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。結核予防シールを始め、海外ではクリスマスシールなど切手ではないが切手状の目打ちが入った紙片を貼った郵便物も時折見かけます。

ところで、創立 80 周年記念にあたる昭和 37 年の切手展では小型印が使用され、長谷川町子がイラストを手掛けた記念カードが作成されました。このカードに記念シールを貼って押印した記念品も、どこに残されているかも知れません。



日本切手 DATABASE の 15 年

小川 義博

はじめに

2009 年会報 33 号に「日本 DATABASE 完成」を著して 15 年、どうにか現在まで DATA の保守、訂正をしながら維持してきた。しかし、心身の衰えを感じる今日、ここまでの DATABASE の歩みをふりかえり、1 つの区切りとしようと思い駄文を著した。



DATABASE の現状

切手 DATA 数 5604 で始まったが現在は DATA 数 13000 を超え、2.5 倍である。当初、Excel でなく、DATABASE ソフト **Access** での作成をパソコン郵趣会員の方々からの助言を受けたが、Excel の機能の向上が大きく現在の DATA 数でも十分に動いている。多分、現状の倍程度までは大丈夫であろう。

15 年間の DATA の追加更新作業で感じていることは。

① KEYWORD の統一を保つことの難しさ

つい思い付き泥縄で入力 of 積み重ねが大きくな問題となってきた。自己責任である。

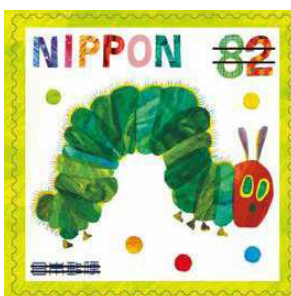
② 解像度良い切手画像を手に入れられなくなった。当初、新発行切手を購入し、400dpi でスキャンしていたが、年に 300 ～ 400 種を購入することになり断念。シート画像でなく、各切手画像を準備するのが大変になった。

③ 切手に関する情報が非常に貧弱となって情報取得に時間を要するようになった。発行される切手情報は日本郵便のホームページから

であるが内容は年々お粗末になってきている。切手に付加されていたデザイン内容の説明が最近は無いことが多い。

②の切手画像準備について触れておく。

黒地背景の切手画像を原則として準備してきた。スキャナーで準備するのは切手の上に黒紙をのせてスキャンすれば良いのだが、日本郵便、郵趣のホームページから画像を得るには画像処理ソフトの助けが必要である。日本郵便からの時はシート画像から切手をそれぞれ切り取れば良いが、郵趣 HP の画像は、多分、上記の作業で切り取られた画像だと思われるが 左下図のように画像処理ソフト



トの水平、垂直配置機能の助けを借りて外側をご覧の黒地にすることで切手として生きるように感じられる。画像が 72dpi であるが故の難しさである。下の黒地にすることで切手として生きるように感じる。画像処理ソフトに自動選択ツール、水平・垂直配置の機能に助けられている。

利用して生じた問題とその改善

DATABASE を使用していて大きな欠点に気付いた。第 1 は 2000 年以降 1 件の切手が多種類発行のため詳しい発行状況を知るための資料としては全く対応できていないこと、第 2 は DATA 数が多くなると本プログラムだけで 1 つのテーマについて角度を変

えて検討するには時間を要する上に基本プログラムを壊すリスクが増えたことである。

★第1の問題が気になり出したの年毎に切手発行を整理すると種類だけのDATAを1990 以前と後では比較しても全く意味をなさないことに浅はかにもやっと気付いた。そこで現在の種類中心のDATABASE を利用し発行日が同じでも内容の異なる切手を別件として新たに種類数、発行枚数、料額の合計を加えて 2784 件を記録した**日本切手発行件数DATABASE** とでもいう Excel FILE をマクロでスムーズに作成できた。その過程で驚いたのが 1989 年頃からふるさと切手発行が盛んになりその後 20 年前後を中心に同日発行の切手が 600 件近くあり、その半数がふるさと切手であることだ。この新 DATABASE で早速発行件数を整理してみた。まず、現在までの発行件数と種類の推移が図1で1990年代以降の発行の急激な増加が発行件数から種類数へと変化していることがわかる。件数の観点から目立ったことを上げると、1 件で発行された種類の最多は 75 種で 20 種以上発行されたのは 46 件、発行枚数では 1 件で 1 億枚以上発行したのは 64 件、1 件の発行で収集家に強いる出費で 1000 円以上を求めたのが 61 件であった。それぞれベスト 9 の代表切手を示すと下から次 PAGE のような 3

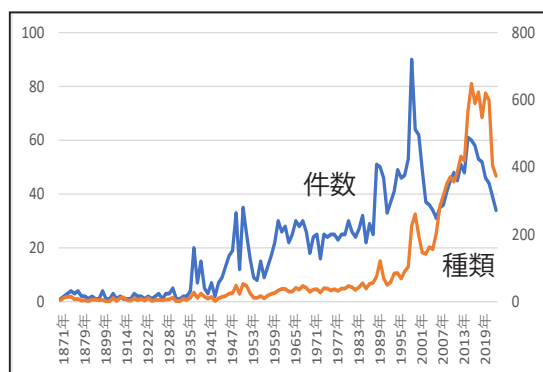


図1 郵便開始以来の切手発行件数・種類の推移

つの切手画像が示された。発行枚数については理解できるが、種類、切手料額についてはオリンピック切手、グリーティング切手等問題を感じさせる発行である。

★第2の問題は検索作業で得られた結果を検討するのに DATA 数が 50 程度であれば整理検討するのを継続して日本切手 DATABASE 上で作業しても基本 DATA に影

同じ日に発行された切手の画像 戦前は富士鹿切手に何日が見られる



1949年6月1日発行の3件3種
産業切手 採炭夫 気象台 75 年電通省設置



1999年4月26日発行のふるさと切手5件18種 一部省略
サクランボ 松本城太鼓門 兼六園 4種 ホタルイカ しまなみ街道開通 10種



1件の発行から生まれた切手種類 BEST 9



1 件の発行で印刷された切手枚数 BEST 9



1 件の発行から印刷された切手枚数 BEST 9

響、ミス入力など生じさせることも少なく、所要時間もかからない。しかし、500 以上の DATA 数の結果をそのまま DATABASE で検討していくと時間を要し、新たな SHEET を作成して進める必要が生じ、混乱して基本的な SHEET を壊すリスクが生じた。

そのため得られた DATA で新たな DATABASE を作成する必要を感じた。そこで

従来の DATABASE に準じたサブ DATABASE のような Excel FILE を作成し、クリックで新たな DATABASE ができるボタンを検索 SHEET にマクロで準備した。例えば、グリーティング切手を検討する場合下記のように 2500 を超える DATA を得た。このまま種々の分析を行うには、重たい FILE を引きずっての作業では時間、リスクが増す。そこで「DATA 分析用 FILE 作成」ボタンをクリックするとグリーティング切手検討と画像 FILE ができ、並び替え、クロス集計、各種統計に加えて画像の編集が時間を要さず出来るようになった。お陰で本会報への寄稿記事を書くことができた。なお、このサブ DATABASE では NOT 検索機能を持たせ、より細かい検索作業ができるようにした。



画像 FILE の使用と切手画像の編集の問題

アルバム、展示等に使用したいと考え、検索で画像を確認し、FILE 名を知りその FILE を 3 つの FOLDER に分けてあっても 12000 を超える FILE から探し出すことは FILE 操作ソフトを利用しても非常に難しく時間を要した。そこで新たな機能をもつ Ctrl + キーをマクロで作成した。次 PAGE の図のごとく切手 DATA の行をクリックして CTRL+Z で画像が表示され、この画像が希望の切手であれば。加えて CTRL+A を押すことで、指定場所という FOLDER に COPY 保存され、他の作業からの利用を容易にできる。この機能はどの SHEET であっても切手 DATA のある行であれば可能にした。

なお複数の画像 FILE を FOLDER に一度に確保する機能は検索 SHEET にボタンとして準備していたので、この DATABASE では切手画像 FILE を目で探す必要はなくなった。更に必要を感じたのが確保した切手画像一覧を画像と文字情報を合わせて一目に比較しな

黄色行をクリックし、そのDATAの切手画像をCTRL+Zで画像を表示させ観音菩薩像・百済観音を確認して、FOLDER指定場所にCOPYする時はCTRL+Aを押す。黄色になるのはCTRL+Zの後表示画像のDATAであることを示すため彩色される

がらその時の課題に適した画像FILEを選択することである。この機能もDATABASEにCTRLコマンドで持たせて画像を容易に選択する環境は下のように整った。

最後に残ったのが準備した切手画像を目的の記事、原稿のSOFTへの貼り付けである。1枚ずつ貼り付けならそれぞれのSOFTの方



蒸気機関車で検索された切手36種の画像を表示させ、比較検討し特定した切手画像の上部に表示された切手の通称を表示セルをクリックし、CTRL+AでFOLDER指定場所に確保される。例えば、鉄道100年のセルをクリックし、CTRL+Aを実行、これで鉄道100年切手1枚の画像を確保

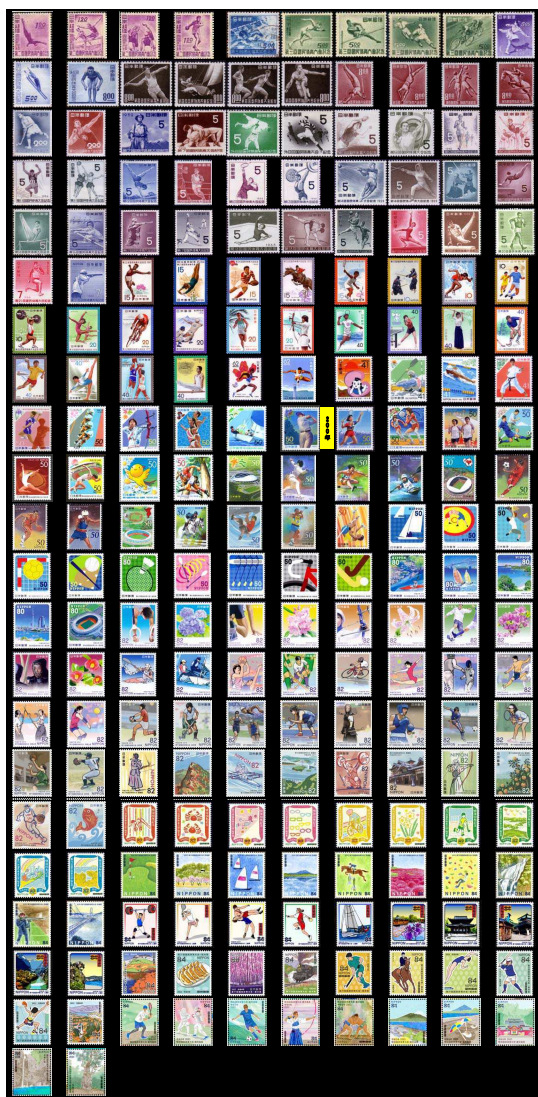
法で問題ないが20枚以上の画像をそろえて貼り付ける場合が生じる。この貼り付け用の画像をDATABASEから直接作る機能を持たせるためマクロでボタンを作成した。蒸気機関車の日本切手を32画像ですべて紹介する場合、基本DATABASEからSUB日本切手蒸気機関車DATABASEを作成、目的にふさわしい順番にここでは8種ずつ並び替え、PDF画像として準備し利用した。

この蒸気機関車切手表示をご覧ください切



左下の検索をした時に蒸気機関車DATABASEとでもいうべき小さなEXCELFILEを作成しEXCELの機能で切手種、発行日順に並び替えて1行8種を指定し画像を表示しPDFfileとして保存し利用

手のサイズがおかしいとお気づきだと思う。サイズの小さい普通切手は大きく、弁慶号のように大きい切手は小さく表示されている。縦横をそろえて見やすく美しく表示するために一定のサイズのスペースの中に可能な最大サイズで表示するようにマクロを組んだためである。縦横比は変更できないので、縦型切手は幅が狭く、横型切手は高さが低く表示されている。実際の切手サイズに表示するとサイズがそろったシリーズ切手などは良いのだが、縦、横型がある場合などは非常に見にくいので使用するのを控えた。この様に大量の切手画像を一覧で見ることができるようになり、新たな切手発行に対する考えを得ることができた。例えば76年間122種の国民体育大会切手を次頁図のように見るとデザイン対象がアスリートに開催地の名所、観光地、スポーツ用具等が加わり、スポーツとふるさと自慢の切手になったこと、加えてデザインの低下、印刷の質が低下していることが一目瞭然である。また、年に20種発行される季節のグリーティング切手を一覧にする。10年に200種も発行されているグリーティング切手の1つ季節・春のグリーティング切手を見ると次頁のように美しく色鮮やかなシールの画像になり日本切手のイメージに大きな影響をもたらしていることを考える。また遊び心を刺激され色彩の幅が広い切手として有名なマーチン切手を用いて右の市松模様の画像等を楽しみながら切手画像の新たな利用ができるのではと考えたりしている。



2000 年以降記念切手からふるさと切手になり。国土緑化切手と共にふるさと切手として残り発行される。デザインに統一性を求められなくなった。

おわりに

新たに発行件数 DATABASE を作り、対象別 DATABASE を必要に応じ容易に作成できる環境と切手画像の扱いと利用をキータッチで可能にして、切手を整理検討してきた 15 年を振り返って、切手趣味にどれだけ意味があったか疑問である。カタログ収集であればこのような検索を要することは少なく、1 枚の切手から得られる情報が重要である。この点この DATABASE は役立たない。思うのは会報 78 号で触れた日本切手図鑑(梅,DVD 版)



12 年間に発行された春のグリーティング切手 140 種の画像。切手趣味に自信が持てなくなる。



600 種近く発行されその色彩の豊かさを楽しませてくれたマーチン切手、中から地味なもの 9 種で市松模様を作ってみた。もちろん 1 クリックで完成

がある。この DATABASE が梅に比較し情報量の圧倒的少なさを痛感する。また、整理検討、分析の面においてこの DATABASE は検討対象の資料を準備する上では有効であるが、それを分類、並び替え、クロス集計、グラフ作成、統計処理するのはすべて Excel の基本的機能によって行っており DATABASE の機能ではない。Excel で作成したことの意味が非常に大きい。この点を踏まえて今後どれだけできるか怪しいが情報量を増やし、少しでも役立つものにしたい。

ホームカミングデーに総会開催

来る 2024 年 10 月 20 日(日)、ホームカミングデーにあわせて稲門フィラテリー総会を開催する運びとなりました。皆様奮ってご参画ください。

今年の記念講演は、井上武志会員に「こども切手教室 3 年間を振り返って」と題して、切手収集普及活動の現場についてお話いただきます。町田市内にある二か所の子どもセンターでは月一回の切手教室を開催しており、「郵趣」誌や「通信文化新報」でも紹介されていますが、今の子供たちが切手に対してどのようなイメージを持っているのか、これから切手収集という趣味はどのように変わっていくのか、興味深いお話が伺えると思います。当日は高田馬場周辺で懇親会も予定しておりますので、ぜひご参加ください。

日時：2024 年 10 月 20 日(日)

時間：12:00～12:40 総会

13:00～14:00 講演

「こども切手教室 3 年間を振り返って」
(井上武志会員)

場所：3 号館 606 教室

16:30～18:30 懇親会(高田馬場周辺)



総会会場の 3 号館(赤丸)



町田切手教室の様子（町田市子どもセンターぱおにて 2024 年 8 月 10 日撮影）

新料金額面に合わせた切手

池澤 克就



2024 年 9 月 2 日に発行された新料金対応切手

さまざまな物価の値上がりが続いていますが、ついに来る 10 月 1 日から、郵便料金が値上げされます。基本料金は、はがきが 63 円から 85



図 1 $40+22+22=84$

円に、封書は 84 円から 110 円に値上げとなります。それに先立ち、9 月 2 日に新たなデザインの普通切手が発行されました。63 円と 85 円の差額として用いる 22 円切手、84 円と 110 円の差額用 26 円切手も用意されました。いずれもシンプルな文様をベースにまとめられた統一感のあるデザインとなっています。



図 2 $16+22+26=64$

さて、収集家であれば料金改定に先立ち発行された新額面の切手を旧額面に適用させた短期使用例を考えてみたくなります。簡単に思いつくのは、40 円+22 円+22 円で 84 円として第二種の基本料金として適用するもの(図 1)。また、16 円+22 円+26 円=64 円となり、

1 円過貼となりますが
これも今月しか出せない
貼り合わせと言える
でしょう(図 2)。

他に、41 円切手に
22 円を貼りたせば 63
円(図 3)、62 円切手に
22 円を貼り足せば 84
円(図 4)となり、22 円
切手は、かつてのはが
き料金 41 円切手、ま
たかつての封書料金で
あり、はがき料金でも
あった 62 円切手とも相

性が良いことがわかります。また、85 円
切手は封書料金 84 円の 1 円過貼となりま
すが、一般の利用者としては 85 円一枚貼
りの封書が料金改定前の自然な使用例か
も知れません(図 5)。他にも 16 円 5 枚
で 80 円ですので、1 円を 4 枚貼り 84 円
として差し出したもの(図 6)なども新料
金切手の使い方としては一つのパターン
かと考えます。皆さんも残り少ない期間
ではありますが、新たな貼り合わせパタ
ーンを考えてみてはいかがでしょうか。



図 3 41+22=63



図 4 62+22=84



図 5 85 円一枚貼り書状



図 6 $16 \times 5 + 1 \times 4 = 84$

■松山城が乗ったポスト

先日、学会発表で松山に行ってきました。松山中央郵便局に立ち寄ったところ、局舎の前に立つポストには立派な松山城が鎮座。城下町としての誇りを感じます。松山中央局の風景印には正岡子規の句碑「春や昔 十五万石の城下哉」がデザインされています。いまでも街中からは天守閣を望むことができます。（池澤）



■局名入りポスト型はがき販売終了

郵便局の局名入りポスト型はがき。上の松山中央の記事写真にもあげていますが、製造者の製造終了に伴い在庫限りで販売終了すると7月31日に発表されました。集めている方はお急ぎください。

■訃報

3月2日に占野靖長会員が逝去されました。また、6月15日に足立八州男切手研旧会員が逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

■皆様からの一言をお寄せください

皆様から一言コメントを募集致しますのでぜひ寄稿ください。

- (1)切手収集を始めたころの思い出
- (2)切手を集めて良かったこと
- (3)切手収集に関わる失敗談
- (4)切手から生まれた交友関係
- (5)コレクションの終活について
- (6)思い出の一枚(画像があればぜひ)

いずれかのテーマ単独でもかまいませんので、青柳宛(tsuaho@green.ocn.ne.jp)にお気軽にメールでお寄せ下さい。

◇編集後記◇

今号巻頭の80周年記念シールのような切手と同等のクオリティのシールは、万博やオリンピック、自然保護などをテーマにしたものを見かけますが、切手ほど重視されることもなく捨てられてしまうことが多いように思います。切手デザイナーが原画を手掛けていたりするので、気に留めて集めておくのも面白いかもしれません。猛暑は一段落したものの、まだまだ残暑が続きます。体調には気をつけてお過ごしください。では、総会でお会いしましょう。

発行日：2024年9月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：池澤克就

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 青柳次男

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。